

【自由意見などへの回答（久佐まちづくりセンター）】

Q. 全国で大きな地震が起きている。浜田地震から 150 年がたち、可能性が高くなってきているのではないか。（100 年周期）浜田市は大きな地震への対応を考えているのか。また、その際食料自給率も低いため心配。

A. 大きな災害時の対応として、避難時 1 万 1 千食の食料など、県と合わせ 1 日分用意されています。個人の持ち出し分も含め 2~3 日は対応できるものとされていますが、引き続き防災意識の向上が図られるよう働きかけます。

Q. 空き家対策を進めてほしい。高知県梶原町の取組事例。

A. 空き家対策を強化するよう働きかけるとともに、先進事例等も研究します。

Q. 久佐の佐々田邸を保護してほしい。門も石垣も他にはない。残してもらいたい。また、久佐の地芝居「松竹座」も支援し守ってほしい。

A. 佐々田邸はまちづくりセンター主催の「抱月ウォーキング」でも紹介されていると伺いました。ご意見を担当課に伝え、要望します。参考までに、他地域では、住民の方々が協議して地域計画書をつくり、地域要望として支所に届け、改善に向かった例もあります。地域の方々と協議もされてみてください。

Q. 敬老乗車券の上限額を引き上げてほしい。

A. いただいたご要望は担当課に伝えさせていただきます。地域での「あいのりタクシー事業」の導入もご検討されてみてください。

Q. 旧久佐小のグラウンド整備

A. 総務文教委員会委員が一般質問でも取り上げさせていただきました。いただいたご意見を担当部局へ伝え、改善が図られるよう働きかけを行いました。

Q. 社協のコーディネーターがおられなくなって活動が停滞している。なぜ、このようなことになったのか。「健康づくりとは・・・」ここをコーディネーターさんはちゃんと考えていた。特に中山間地にはコーディネーターが必要であり、サロンは入口である。福祉・介護予防・医療費削減・コミュニケーション社会参加等少ない費用で大きな効果が得られる。お金がないからやめますではない。

A. 地域でのふくっぴーサロン等を担ってきた浜田市社会福祉協議会が令和 5 年度、介護予防・日常生活支援総合事業から撤退し直営にしたことにより、住民サービスが低下しているとのことのご意見が多くありました。この問題は一般質問や福祉環境委員会でも取り上げられ議論しています。現行の資源活用と協力団体との連携によりサービスの質を維持するための工夫も検討されています。改善に向け引き続き協議、研究してまいります。

Q. 米価の低さ・米離れについて

A. 産業建設委員会内や一般質問等で取り上げてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800